

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

福井県 若狭町

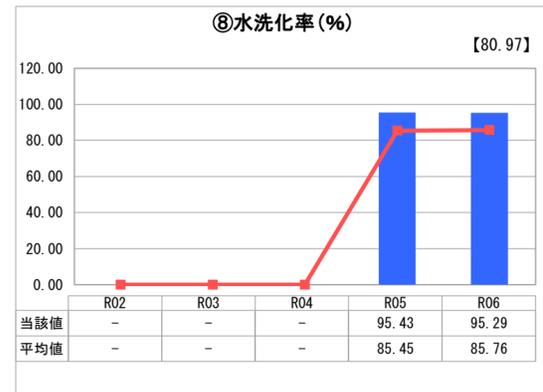
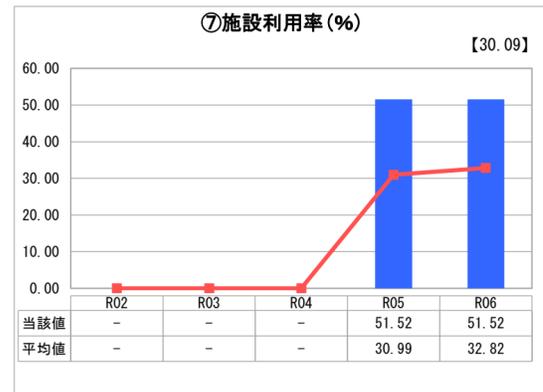
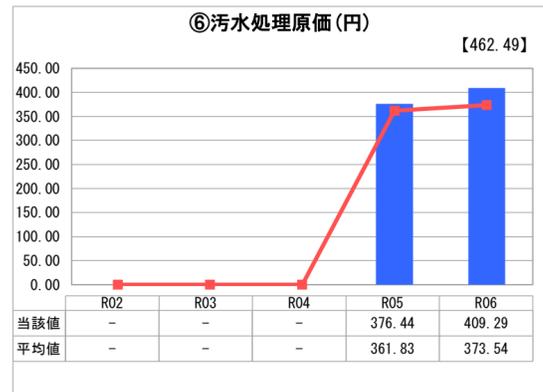
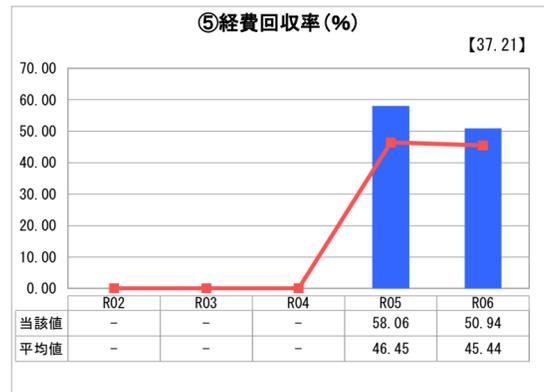
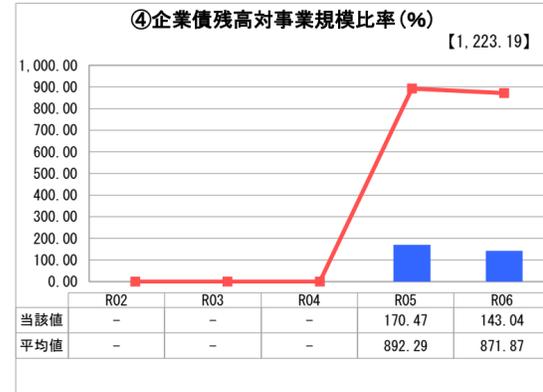
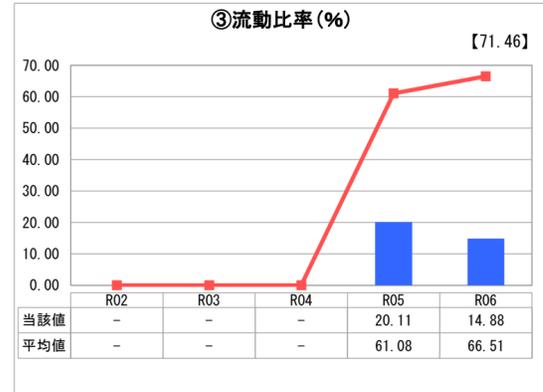
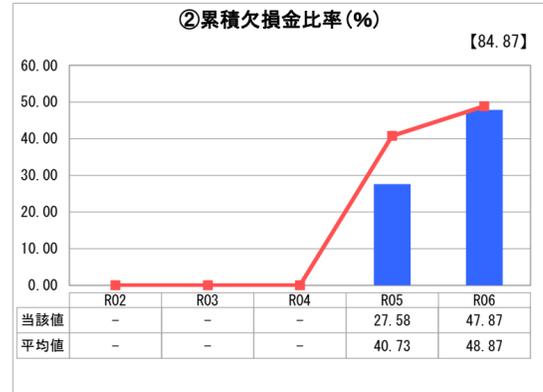
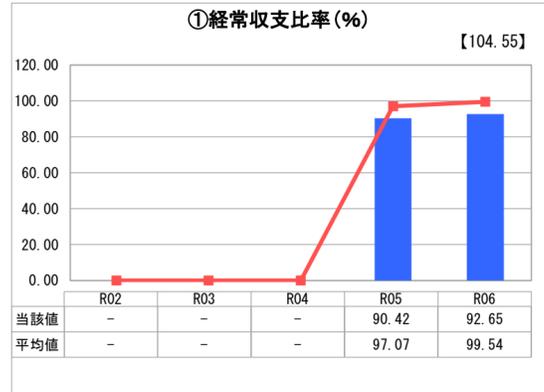
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	88.81	3.37	59.87	5,005

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,354	178.49	74.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
446	0.12	3,716.67

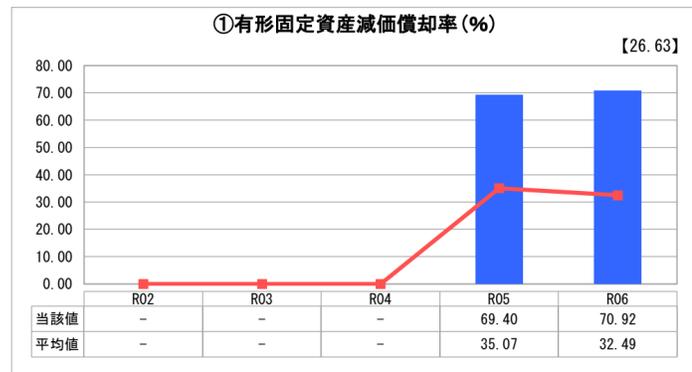
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、100%を下回り赤字となるが、減価償却費の計上による部分が大きく、直ちに資金繰りが悪化するものではない。
- ② 令和6年度収益的収支の損益が赤字であることから累積欠損金が生じている。
- ③ 流動比率は100%を下回っており、支払能力に課題がある。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、償還のピークを過ぎたことから、類似団体平均と比較して低い水準にあり、引き続き適正な投資規模に努める。
- ⑤ 経費回収率は100%を下回っており、一般会計からの繰入金に依存した経営状況であり、更なる維持管理費等の削減に努める。
- ⑥ 汚水処理原価は類似団体平均より高いため、投資の効率化及び維持管理費等の削減に努める。
- ⑦⑧ 施設利用率及び水洗化率は、施設準備が完了していることから、類似団体平均を上回っている。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産原価償却率は、数値が高いほど耐用年数に近い資産が多いことを示しており、類似団体平均より高くなっている。したがって、将来、経年経過に伴い数値が高まり施設改築更新の必要性が高まる。
- ② 管渠老朽化率は、耐用年数を到来しているものがなく、ゼロとなっている。
- ③ 管渠改善率は、管渠の更新を要する状況になく、ゼロとなっている。

### 全体総括

経常収支比率が類似団体より低いため、維持管理費等の経費削減により、更なる経営の健全化・効率化に努める。

また、地理的な要因もあり、施設に要する経費が大きく、汚水処理原価が類似団体平均を上回っていることから、投資の効率化や維持管理費の削減に努める。

維持については、最も経過しているもので管渠31年、処理場28年であり、施設の老朽化には至っていないが、施設の老朽化と併せ統廃合を進めることで、効率的な施設更新を図り、かつ維持管理費等の経費削減を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。